

特別支援 だより

新入生オリエンテーション号

令和3年1月29日(金)
宜野湾市立 大山小学校
TEL:897-2174 FAX:890-4848
特別支援教育コーディネーター
ステップ担任:嘉味田 美奈子

とくべつしえんきょういく 「特別支援教育」ってなあに？

特別支援学級の対象の児童だけでなく、通常学級の中で何らかの困り感を持ち、特別な配慮や支援を必要としている児童生徒に対しても、教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行っていかうというものです。

学習や生活の様々な場面で困難さを感じている子ども達の中には、LD（限局性学習障害）やADHD（注意欠如多動症）、高機能自閉症やアスペルガー症候群等を含むASD（自閉症スペクトラム）などの発達障がいを抱えている場合もあります。

お子さんのことで気になることが出てきましたら、担任の先生や特別支援コーディネーターにご相談ください。また、スクールカウンセラー、SSWに相談することもできます。

お子さんの「気になること」はありますか？

【学習面や行動面での困難さ】

○まじめに努力しているのに、成績が伸びない

○他の事が気になって、集中することが苦手

○順番が待てなかったり、勝ち負けにかなりこだわる

○忘れ物が多く注意しても持続しにくい

○不器用で運動が苦手。動作もぎこちない

○自分の考えや思いをうまく伝えられない

○孤立していたりいじめられたりしやすい

○冗談が通じにくくよくトラブルを起こす

○ある考えや行動に強くこだわって生活がスムーズにいかない

【いろいろな支援の例】

etc...



○担任が行う個別支援…児童の困り感に合わせた支援を行います。

(座席位置の配慮、個別の声かけ・指示、教材の準備…等)

○特別支援学級…児童の困り感に応じて、少人数での学習指導を行います。

(支援学級を利用するには、市の教育支援委員会へ申請し審議が必要になります。)

○支援員の活用…特別支援教育支援員が学級に入り、必要な時間、必要な場面での声かけ、見守り等の支援を行います。(※支援員を希望する場合は、教育委員会への申請が必要になります。)

○教育相談(カウンセリング等)を希望…大山小には、スクール・カウンセラーと、SSW(ソーシャル・スキル・ワーカー)が勤務しています。調整して橋渡しをします。

大山小学校の特別支援学級について

今年度は、知的学級と自閉症・情緒学級を合わせて9クラスでしたが、次年度は、10クラスを予定しています。

(令和2年度 支援学級)

知的学級・・・ステップ1組～4組

自閉症・情緒学級・・・スマイル1組～4組

病弱学級・・・ステップ5組

〈指導方針〉

- ①社会生活に必要な言語の理解や表現、基礎的数量の処理、基本的生活習慣等の育成を図りながら、将来社会の一員として適応できる生活能力を身に付けさせる。
- ②個々の持っている能力を見つけ出し、気づかせ、その能力を一層伸長させる。
- ③積極的な対人関係を持たせながら、集団への適応能力を高める。
- ④たくましく生きていこうとする意欲と態度を身につけさせる。



〈配慮事項〉

- ①個に応じた指導目標を設定し、学習を進めていく。
- ②児童が安心・安全に過ごせるよう、教室内外の環境を整える。
- ③交流学級・学年との交流は、児童の状態に合わせて無理なく進めるようにする。
- ④家庭との連携を密にし、保護者の理解と協力を得て、一貫した教育活動ができるようにする。

《特別支援学級在籍児の学校生活の様子》

- ・交流学級に登校して、朝の活動を行います。例えば、ランドセルを片付けて、朝読書をしたり、・・・と、交流学級の児童と一緒に活動します。
- ・1年生の入学当初は、学校生活や学習のきまりを学習します。集団生活に慣れるための大切な時期なので、4月は交流学級でみんなと一緒に過ごすことが多いです。
- ・5月頃、学校生活に慣れてきたら、教科や単元によって交流学級と支援学級を行き来し学習をします。
- ・支援学級では、国語や算数を中心に学習します。教科の他に「生活単元学習や自立活動」の学習を行います。健康面や生活習慣に関わること、環境の把握、人間関係の形成、コミュニケーション…等に関わる学習を行い、生活能力や社会性を育む学習を行っています。国語・算数以外のその他の教科は、基本的に交流学級で授業を受けますが、児童によっては、緊張が強くて集団に入れられないこともあるので、様子を見ながら参加を促しています。

支援学級入級児童 新入生おまねき会

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しません。ご了承ください。